

法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401

必修 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

冷戦終結後の世界は当初の予定と異なり、紛争が多発した不安定な時代となった。発展途上国や宗教・民族対立の激しい地域ばかりではなく、本来国際秩序の維持国であるはずのアメリカやヨーロッパでもトランプ政権、イギリスのEU離脱、ポピュリズムなど不安定要因は一層多くなり、グローバル化の中で世界の動揺は加速している。この演習は、国際関係論の教科書や基礎文献を読みながら、理論・歴史的視角から今日の国際政治の理解の仕方を学ぶ。共通知識として日本外交についても学習する。

2. 授業の到達目標

国際関係論の基礎文献を読了し、国際社会の現実を理解するための基本的な考え方を学習する。またいくつかのテーマについてグループを作って共同で学習・発表することによって、レポートの作成・発表の能力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況、討論への参加、レポートの作成と発表に基づいて総合的に評価する。毎回の出席は最低限の義務である。

4. 教科書・参考文献

教科書

ジョゼフ・ナイ 『国際紛争——理論と歴史』 有斐閣

中西寛 『国際政治とは何か』 中央公論新書

五百旗頭真 『戦後日本外交史』 有斐閣

参考文献

『日本の国際関係』 大矢根聡編 勁草書房

『国際関係論』 中嶋嶺雄 中央公論新書

5. 準備学習の内容

各回の報告者は、テキストの内容紹介・討論の論点、課題についてレジュメを準備してプレゼンテーションする。担当者以外の学生は、テキストの該当箇所を読み、予め質問や意見をまとめておくこと。

6. その他履修上の注意事項

毎回の出席と予習をきちんとすること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 【第1回】 | 導入：演習の課題、文献紹介、報告の仕方の指導 |
| 【第2回】 | ジョゼフ・ナイ『国際紛争——理論と歴史』有斐閣の輪読、報告・討論 |
| 【第3回】 | 同上 |
| 【第4回】 | 同上 |
| 【第5回】 | 同上 |
| 【第6回】 | 同上 |
| 【第7回】 | 中西寛『国際政治とは何か』中央公論新書の輪読、報告・討論 |
| 【第8回】 | 同上 |
| 【第9回】 | 同上 |
| 【第10回】 | 同上 |
| 【第11回】 | 五百旗頭真『戦後日本外交史』の輪読・報告・討論 |
| 【第12回】 | 同上 |
| 【第13回】 | 同上 |
| 【第14回】 | 同上 |
| 【第15回】 | 同上 |